

# 特 記 仕 様 書

## 1. 目的・主旨

本業務は道路法施行規則第4 条の5 の6 の規定に基づき行う橋梁定期点検である。

## 2. 適用範囲

本特記仕様書は琴浦町が発注する「農道橋（高野大橋外）橋梁点検業務」に適用する。

本業務の遂行に当たっては、本特記仕様書及び以下の図書に準拠する。

- ① 測量業務共通仕様書（平成28 年10 月鳥取県）
- ② 道路橋定期点検要領（平成31 年2 月国土交通省道路局）
- ③ 鳥取県道路橋りょう定期点検マニュアル（平成27 年2 月鳥取県）

## 3. 業務内容

農道橋定期点検 2 橋

### （1）計画準備

業務計画書作成、現地踏査、及び関係機関との協議資料作成等を行う。

#### 1) 業務計画書作成

業務計画書及び詳細な橋梁毎の点検計画となる実施計画書の作成及び関連資料の収集を行う。

#### 2) 現地踏査

定期点検に先立って現地踏査を行い、橋梁の変状（劣化・損傷等）程度を把握する他、橋梁の立地環境、交通状況、交通規制の要否、近接手段について現場の概況を調査して記録（写真撮影含む）する。

#### 3) 関係機関との協議資料作成

定期点検において必要な関係機関との協議用資料、説明用資料の作成及び必要な資料等の収集を行う。

### （2）定期点検

#### 1) 状態の把握（点検）及び 健全性の診断

「鳥取県道路橋りょう定期点検マニュアル」（以下、鳥取県点検マニュアル）に基づき、橋梁点検車、あるいは梯子等を用いて、橋梁点検を近接目視にて行うとともに、点検対象の部材単位での健全性の診断と橋梁毎の健全性の診断を行う。

#### 2) 定期点検の結果の記録とその他記録の補完

点検結果及び診断結果について、点検要領に基づきMicrosoft Excel にて記録様式（様式1）を作成し、記録するものとする。さらに、「鳥取県点検マニュアル」に基づいた記録様式（様式2）についても作成する。

また、必要に応じて道路管理者が保有する橋梁台帳等の記載事項を補完するために、現地計測を行う。

### 3)個別施設計画策定

定期点検の診断結果に基づき、施設の修繕計画を策定する。

### (3) 報告書作成

点検業務の成果として、作成した資料や定期点検の結果の記録等のとりまとめを行う。なお、Microsoft Excel で作成した記録様式（様式1,2）については、電子媒体でも納品すること。

### 4. 履行期間

本業務の履行期間は、契約締結日から令和3年2月26日までとする。

### 5. 管理技術者

管理技術者は、『橋りょう点検員に必要な資格』より、いずれかの資格を有するものとする。

### 6. 照査技術者

本業務は、照査技術者を定め照査を実施する。照査技術者は、『橋りょう点検員に必要な資格』より、いずれかの資格を有するものとする。

なお、照査に当たっては、調査・測量・設計業務共通仕様書及び監督員の指示によること。

### 7. 点検員

点検員は、『橋りょう点検員に必要な資格』より、いずれかの資格を有するものとする。

### 8. 打合せ協議

打合せ協議は、業務着手時・中間・成果品納入時の3回とする。業務着手時及び成果品納入時には、管理技術者は立ち会うこと。

### 9. 資料の貸与及び返却

本業務において必要となる資料については、初回打合せ時において、双方確認し貸与することとする。

なお、琴浦町が貸与した資料については、使用後速やかに返却すること。

### 10. 関係官公庁への手続き等

本業務履行のために必要な関係官公庁等その他への諸手続きについては、監督員と協議の上、受注者の責任において迅速に処理すること。

### 11. 点検計画及び準備

受注者は点検の実施に先立ち、あらかじめ実施計画書を作成し、監督員に提出しなければならない。なお、点検の実施時期については監督員の承認を得るものとする。

### 12. 諸法規の遵守について

受注者は本業務の履行にあたり、諸法規を遵守し点検の円滑な推進を図るとともに、諸法規の運

営適用は受注者の負担と責任において行わなければならない。

### 13. 交通安全管理

本業務の履行にあたっては、交通状況を十分理解し、調査員の人身事故はもとより、第三者に危害を及ぼさないように万全の措置を講じなければならない。

### 14. 手直し

受注者は本業務が完了した時、受注者の責に帰すべき理由による過失粗漏に起因する不良箇所が発見された場合には、速やかに訂正、補足、その他の措置を講じなければならない。

### 15. 成果品

- ・報告書 2 部
- ・点検調書 2 部
- ・点検調書の電子データ 2 部

### 16. その他

- ・業務を遂行する上で疑義が生じた場合は、監督員と協議し、速やかに処理すること。
- ・点検方法に対し、必要に応じて監督員と協議すること。

#### 橋りょう点検員に必要な資格

施設分野	業務	資格者	
		知識・技術を求める者	資格の名称
橋梁 (コンクリート橋) (鋼橋)	点検・診断	管理技術者 照査技術者 担当技術者	以下に示すいずれかの資格を有すること。 ① 技術士（鋼構造及びコンクリート） ② RCCM（鋼構造及びコンクリート） ③ 「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定改正（令和元年 国土交通省告示第765号）」に基づく、「技術者資格登録簿」に登録された資格のうち以下の全てに該当する資格とする。 1.施設分野：橋梁（コンクリート橋・鋼橋）に該当するもの 2.業務：点検及び診断に該当するもの